個別指導会 NEWS

2016年5月16日2号

4月の授業記録をお送りいたします。

薫風の候――ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今年のゴールデンウイークも日によっては夏を思わせるような暑さにもなるなど、昨年同様比較的晴天に恵まれた「行楽日和」の1週間でした。

どこか遠くへお出かけになったり、日頃の生活ではなかなかできないことを思い切って実行してみたり…と、束の間の非日常を愉しまれたご家庭も多かったのではないでしょうか。

当塾も1週間お休みをして、講師一同東の間の骨休めをさせていただきました。

文字通り心身ともにリフレッシュしてまいりましたので、さしあたっては今月末に行われる「1学期・中間試験」へ向け、1人1人のお子さんに責任を持って〈わかりやす〈親身な指導〉をさせていただきます。



当塾では平素からご案内のように、通常の授業に加えて「中学生対象・土曜無料補講」や定期試験 1 週間前から連日 実施される「定期試験対策」、「北辰テスト対策」など充実した各種講座、さらに自習室をご用意しておりますので、お子様 の家庭学習がはかどっていない場合は、ぜひ積極的に当塾へ来室させてください。

■今月のお知らせ■

① 5月は各中学校で「1学期・中間試験」が行われます。

所沢市の中学校では、多くの中学校で5月後半に「1学期中間試験」が行われます。 試験1週間前から各教室で「定期試験対策」を実施しますので、積極的に参加してください。

2 6月19日(日) 第2回 北辰テスト のお申し込み期間

6月19日(日)に行われる「中3生対象 第2回 北辰テスト」をお申し込みの場合は、5月19日 (木)~5月27日(金)の間に、受験料4600円を添えてお申し込みください。

■塾からのご案内■

6月下旬~7月上旬に「保護者対象・個別面談」を実施します。

6月下旬~7月上旬にかけ、在塾する小中学生の保護者各位を対象に、「個別面談」を実施させていただきます。教室長との「1:1」の形式で、お1人様につき約40分をおとりいたします。

塾での学習状況や今後の学習の展望、進路にまつわるご相談など幅広くお話をさせていただきたいと思います。詳細に関しましては、また来月改めて各ご家庭に「個別面談のご案内」を送付いたします。

学習のアドバイス

このコーナーでは、毎回5教科のなかの1つの単元に的を絞って、「勉強のコツ」のようなものを掲載していきます。 お子様とのコミュニケーションのきっかけとしてご活用ください。

今回のテーマは英語の「文型」です。文型とは、文の要素(主語・動詞・目的語など)の有無や語順に基づいて分類する文の基本的な構成のパターンのことですが、日本語と英語では、その分類の仕方が全く異なります。日本語の文型は主に名詞文(例:彼は中学生だ)・形容詞文(例:私は忙しい)・動詞文(例:あなたは勉強する)の3つで、述語によって区別します。一方、英語の文型は動詞の後に続く語句の種類や語順によって5つに分類されます。

そこで、「文型」が理解できているか簡単なテストで確認してみましょう。まずは語順の違いから。 次の英文を日本語に直してください。

- 1) Fish eat every day.
- 2 Eat fish every day.

きちんと区別できましたか。①は eat の前にあるので fish が主語(〜は/が)の役割をしています。よって、「魚は毎日食事をする。」と訳します。②は eat の後ろにあるので fish が目的語(〜を/に)の役割をしています。よって「毎日魚を食べなさい。」と訳します。生徒にこの質問をすると、ほとんどの生徒が①を「毎日魚を食べる。」と訳してしまいます。これは多分「魚は食べ物である」という先入観があるからではないでしょうか。では、もう一問。今度は単語の有無の違いです。



次の英文を日本語に直してください。

- 1) Don't run in the shop.
- 2 Don't run the shop.

いかがでしょうか。①では the shop に in がついているので shop は場所を表しています。よって、「その店<u>で</u>走ってはいけません。」と訳します。②では the shop が run の後ろにあるので shop は目的語となります。よって「その店<u>を</u> 走らせてはいけません(=経営してはいけません)。」と訳します。

このように、英語は語順や単語の有無で意味が全く変わってしますので、ちょっとした違いも疎かにせず、よく考えて答えるようにしましょう。

平成 28 年度入試を振り返って ②

前回は県立高校入試の倍率について分析しましたが、いかがでしたでしょうか。今回は県内私立高校の応募 状況について分析してみたいと思います。

埼玉県は就学支援金に県独自の上乗せ補助があるため、経済的な負担はある程度軽減されます。また、最近の県立人気と入試一本化の影響により、押さえとしての私立高校の役割は高まっているようです。

近隣の私立高校で応募者数が大きく増加したのは、東野高校や国際学院高校といった下位校ですが、これはかつて競合校だった叡明高校(旧小松原高校)や浦和麗明高校(旧小松原女子高校)が推薦基準を引き上げた影響に加え、前年度に応募者が急増したために不合格者を多数出した秀明英光高校が敬遠された結果だと思われます。また、聖望学園高校など応募者が減少した高校では、推薦基準を引き下げたり奨学金制度を拡充したりした結果、人気が回復していますが、西武文理高校ではかなり受験者数が減少してしまいました。その他の高校についてはほぼ例年並みでしたが、推薦基準の変更は応募者数の増減に直結しますので、志望校だけでなく競合校の推薦基準にも注目してください。



教室長日記

定期テストが始まります!

ゴールデンウィークも終わり、いよいよ学校の授業も本格的に始まっている頃かと思います。 5月は受験生である中学3年生にとって、内申が決まる重要な定期テストが控えています。生徒の皆さんの中には「まだ1学期の中間テストだから」とか「中間テストが悪くても期末テストで取り返せばいいや」とか、どこか軽く考えている人はいませんか。

実は、1 学期の中間テストが最も大切なテストということを肝に銘じてください。

通常、県立高校の受験で使われる内申点とは1学期と2学期の成績が中心となって決まります。また、 私立高校の推薦には1学期もしくは2学期の成績が基準となります。

ということは、県立志望の生徒であれば1学期の成績が良いと2学期の頑張り次第によって、志望校の基準内申より高い点が望めますし入試にも有利になります。同時に、私立の推薦では10月以降の説明会において早い段階で推薦が取れることになります。

つまり、受験生にとって今回のテストはとても重要なものなのです。自分の志望校や将来の夢、目標などもう一度確認してください。そして、決意を新たに勉強に邁進していきましょう。

私たちも一緒になって頑張っていきたいと思います。

(狭山ヶ丘校 石田)